

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号	B0103-2	事務事業名	災害用備蓄品購入事業			事業期間	昭和63年度以前	～	令和8年度以降								
実施計画事業		担当部	市民生活部			担当課・担当係	防災危機管理課 防災危機管理係										
実施計画事業以外の事業	○	基本 施策	1	展開 方向	3	事業・予算区分	一般事業	款	2	項	1	目	13	大	4	中	2
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	小牧市地域防災計画、 小牧市災害対策備蓄品整備計画			対象 (何・誰を対象に)	避難所避難者、帰宅困難者										
	根拠法令・個別計画				内容 (どのような方法で)	平成27年7月に実施した小牧市地震被害想定調査の結果を基に、住民用非常食、生活必需品及び感染対策品の必要量等を算出し、主な備蓄品の購入計画、整備方針から計画的購入するものである。 その他、非常配備参集職員に食糧が必要であるため、購入等をするもの。											
	目的 (何のために)	小牧市地域防災計画において被災住民に対し、最低限必要な水、食料、生活必需品を供給するとの方針が示され、また、同計画で市は飲料水等の備蓄を行うことを定めている。 以上のことを達成するために小牧市災害対策備蓄品整備計画を定めている。 小牧市災害対策備蓄品整備計画は、市の避難者用の公的備蓄を強化することを目的として、住民用非常食、生活必需品及び感染対策品の購入計画や整備方針を整理したものである。 その他、非常配備参集職員に必要な保存食の購入も実施するもの。															

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6
			直接経費	決算額	千円	4,346	4,720
	財源	一般財源	4,346	4,720	4,719	10,465	
		国・県支出金	397	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
	計(A)		4,743	4,720	4,719	10,465	
	対前年比	%	—	99.52%	99.98%	221.76%	
	予算額	千円	5,300	5,300	5,200	10,776	9,352
	人件費	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	正規職員(平均賃金)	千円	75	75	75	75	
	その他職員	人					
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	75	75	75	75	
	事業費合計(C=A+B)	千円	4,818	4,795	4,794	10,540	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	1	指標名	単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			展開方向	3	1	自然災害による死傷者数	人	→	0	0
			2	市職員向けの研修・訓練回数	回	↗	7	7	7	7
			3	災害時に備えた関係団体との研修回数	回	↗	7	8	8	8

指標	指標ほか		単位	R2	R3	R4	R5	R6		
	成果指標	保存水備蓄	ℓ	目標	3,951	3,951	3,951	3,951		
				実績	2,304	2,700	3,096	3,492		
		活動指標	保存水購入	ℓ	目標	396	396	396	396	
					実績	396	396	396	396	
	単位あたり事業費	受益者数(a)		人	—	—	—	—		
		受益者あたり事業費(=C/a)		円						

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの			
	事業の達成状況と課題	<p>本市が小牧市災害対策備蓄品整備計画により当初予算通りに事業を進めた結果、必要とする保存水の総数に対して、令和5年度に整備する数量は予定通り達成できた。 今後も継続して計画どおり購入等をする必要がある。</p>	<p>今後の実施内容・今後の改善内容</p> <p>今後も小牧市災害対策備蓄品整備計画及び当初予算通り、必要物品を購入する。 現在必要数量に満たしていない備蓄物品に関しては、財政部局と調整をし、早期に必要な数量に満たすよう進めることを検討する。</p>			
	改善の有無	無	千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容	計画に変更がないため無し。	<p>事務事業額評価</p> <p>計画に変更がないため無し。</p>				

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
妥当性		行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	避難住民に対し、最低限必要な水、食料、生活必需品を供給する方針及び備蓄を行うことが小牧市地域防災計画に定められているので、計画通り必要物品を購入する必要があるため。
有効性		廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	計画通り生活必需品等の購入ができないことで、備蓄品等に不足が生じ、市の責務を果たすことができなくなる。
効率性		サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	本市の被害想定に基づき小牧市災害対策備蓄品整備計画を定めており、当初予算通り事業を進める事が最善策であるため。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	災害対策設備整備事業は行政でしか行えないため、現状のままとしたい。
公平性		受益者負担は適正か	適正である	小牧市地域防災計画に基づき、市の責務として備蓄を行わなければならないため。